

若手座談会

丹波市役所で活躍する若手職員による座談会。

入庁の決め手や職場の魅力、仕事のやりがいなど、丹波市役所で働く中で感じている
想いについて語り合っていました。

入庁してから今までの成長が実感できました。



鈴木（市民課）
令和3年採用

市民目線で分かりやすい説明を得意とし、日々、戸籍関係の窓口業務をてきぱきこなす。明朗快活な性格で、職場内で活発な意見交換を行う姿は日常的。学生時代は陸上部の短距離選手、足も速いが仕事も早いスピード女子。休日は、神社仏閣巡りで自然にいやされている。



平原（市民課）
令和2年採用

好きな言葉は「笑う門には福来る」。常に笑顔で対応する癒し系女子。担当業務以外のことも前向きに取り組み、新しい知識を習得中。オフの日は、ライブ、韓国ドラマを満喫し、自分の時間を大切に楽しく過ごしている。



山口（総務課）
令和2年採用

あまいマスクにニッコリ笑顔。総務課の次代を担うさわやか系男子。総務課1年生として、日々、新しい業務のマニュアルと奮闘中。市民に寄り添うやさしさとわき目もふらず一直線に取り組む姿勢で勝負。休日には、野球、ドライブでリフレッシュ！



荻野（農林振興課）
令和2年採用

若さあふれる職場のムードメーカー。林業振興施策の最前線で、新たな挑戦を繰り返しながら自己研鑽に努めている。持ち前の明るさと行動力で、同僚や先輩、そして市民にも明るい笑顔を届けている。休日は農作業を熱心に取り組んでおり、公私ともに充実した日々を送っている。

1 丹波市役所に入庁を決めた理由は



山口 高校1年のころから地元での就職を考えていて、職種とかは決めていなかったのですが、丹波市で貢献できることはと考えたときに最初に浮かんだのが市役所だったので、そこを目指していました。

鈴木 だいぶ早いうちから決めていたんですね。



荻野 消防だったんじゃないかな・・・



山口 消防は他に2人目指してて、採用の枠も少なくてもその子たちのほうが賢かったんで（笑）

鈴木 最初の部署は？

山口 未来創造課。今はふるさと定住促進課になっているけど、公共交通をやっていました。



平原 じゃあ次は私ですね。私も高卒で入庁して、地元で働きたいと前から思っていて。丹波の活性化になればよいと思っていた。それで1つの方面だけに決まっていなのが市役所で、いろいろな方面から丹波市の役に立てるかなと思って。私も高1のころから勉強していました。

鈴木 高校ではインターアクト部だったんですね？そういうことも関係するんですか？

平原 どういう人たちが住んでいて、何に困っているかがわかったので、役に立ったと思ってます。



荻野 うちの係長がそのころ一緒だったんだよね。今日も「あの子はすごいぞ」と言っていて、「おまえ行って大丈夫か」って心配された（笑）

鈴木 たいへん落ち着いてらっしゃる（笑）



平原 そ、そんなことはないです。



鈴木 年下とは思えない（笑）

荻野 3人は柏原高校なんですか。



鈴木 そう。では次、荻野さん。



荻野 はい。僕は野球をやっていた。高校、大学と野球で進んできていて、高校に行くときに市外にでてるんですね。それで高校、大学、社会人1年と約8年、丹波をはなれて生活していたんですけど、単純に丹波市に帰りたいというのがあって。というのも親父が農業をはじめて、ゆくゆくやらなあかんというのもあるって、丹波に帰ろうかなと思って、仕事何があるかなあ、というところから始まったんですけど、ちょうど3次募集があって。僕の希望としては消防に入ろうかと。で、試験が一般と消防で同じ内容だと聞いていたので、1回どんなものかと思って受けてみようと思って。でも実際に受けてみると、「なんやこの難しい問題は」ということで（笑）

とにかく書いて、やって。帰って勉強せなあかんと思いつつ。幸い受かったんで、これは入るしかないということで入庁を決めたということです。

入ってどんな仕事があるんかも全然わからなかったんで、日々勉強だと思ってやっています。



鈴木 ずっと農林？

荻野 せやね。林業に4年目突入しております。



鈴木 では私ですね。私もともと教員免許をもっていて、大学が教育大だったんです。1年目は人材紹介会社に入社したんですけど、ちょうどコロナのはじまった年で。京都だったんですけど、電車通勤とかいろんなストレスでだいぶ痩せてしましまして、じゃあ丹波に戻るか、となったときに丹波市役所のホームページを見たら募集をしていたので、急遽受けさせてもらいました。もともと人材紹介会社に入ったのも教員としてではなく、教育に関わりたいと思っていたので、丹波市ではいつか教育委員会に行きたいなあという希望をもって市民課で働かせていただいています。

2 入庁後に感じる丹波市の魅力は



鈴木 一番思うのは、親しみやすい先輩、上司が多くて相談しやすいところです。何かあったときにすぐに相談にのってもらえるのがすごい魅力です。特に係長が難しいお客様が来られたらすぐに来て下さるので「係長ありがとう！」と思っています。他の部署の人にも親しみやすく話しかけてくださるのがいいところです。



荻野 僕は1年だけ別会社に勤めとったので比較しやすいんですが、もともと働いていたのが電子機器系。どちらかというとなりの知識がある人が多かったというのもあるんですけど、自分の仕事だけで、他に目をむけないような感じやったけど、丹波市役所に入った感じは、先輩も優しく、1つ1つ教えてくれる。同じ部署じゃなくても聞けば教えてくれる。年齢も全然違うなかでも前の会社に比べてすごい仕事しやすい環境なのかなって。詰まることなくやっていけるのは丹波市の魅力だと思いました。



鈴木 みんなで仕事をしているっていう感覚ですね。

荻野 そう！そうです！



平原 私も鈴木さんと似ているんですけど、市役所と聞くと賢くて、ちょっと職員の人、怖いかなというイメージがあったんですけど、実際に入ったらごりごりの丹波弁というか（笑）

高卒で入ったので、バイトもしたことがなくて。ほんとに何も社会経験がない状態で、1から電話の取り方とかも教えてもらう感じで、いっぱいいろんなことを質問しまくって。ちょっと煩わしいと思うところもあると思うんですけど（笑）

でもやさしく丁寧に教えてくれる。そういう人のやさしさがある職場だと思います。

鈴木 丹波市の人があっただかい人が多いですよ。私、前に住んでいたところで市役所に行ったら窓口
にいた人がすごい怖かったです。つんけんされてた（笑）



山口 僕も似たようなことなんですけど。一緒の部署の上司、先輩もそうですが、隣の部署の人とかも積極的にコミュニケーションをとってくれる。仕事の話だけじゃなくて、プライベートの話とかもしてくれて、話しやすい雰囲気をつくってくれていると思います。

平原さんも言われていたが高卒で入って電話もでたことがない。言葉遣いとか全然わかってなかったんで、当時の係長が、僕が電話にでたら横にいてくれて、「ちゃうちゃう」とか言ってくれたり。あと同期が20人くらい毎年採用されるので、同期だけで集まったりとか同期で関われる場所があるのが良い。

3 仕事でこれまでに経験した壁は



平原 市民課で市民の方に対応する業務が多くて、担当しているのが保険や医療費助成なので、皆さん初めて聞く言葉が多くて、専門用語とか聞きなれない言葉を使ってしまったりして聞き返されたりする。それをどうしたら伝わりやすいかなと考えると、実は理解しているつもりでも、私も完全には分かってなかったなど。もっと担当していることを詳しく知って、それに関連することも勉強して、私が一番知っているようになりたくて勉強すると、どう伝えたら良いかが分かるようになってきました。

鈴木 市長も市民の方と分かってもらえるまでお話ししてくださいと言われてますもんね。

私も特に市民課に来てから証明書の発行とか転入転出の手続きするなかで、市民の方に寄り添えないことがあったりします。直系の親族じゃないと戸籍がとれないとか。

実際に窓口に来られて、「今から手続きするぞ」という気持ちでいらっしゃるのに手続きできなかつたりすると、「なんでや」となってしまうよな。丁寧に説明して、どうしたらできるか説明が必要になったときにやっぱり知識が大事になる。そういうときに市民の方にやさしくというか分かりやすく説明するのをがんばっていて若干できるように、粘り強く説明することができるようになったと思います。

山口 入って最初の部署に3年いたが、いちばん年が近い人で2周り違っていたんですよ。その人と係長がやっている事務を見ていると、自分とスピードがぜんぜん違う。当たり前だけど。他にも正しい言葉遣い、説明がちゃんとできていないことがあった。

自分で勉強するのももちろんあるんですけど、係長からは「先輩の技を盗め」とよく言われていた。事務のしかた、電話対応とかいろいろ教えてくださる方だったので、そのやり方を見て勉強してできるようになったと思う。





荻野 市民課に比べて僕の部署はお客様対応は少ない。多いのは木が倒れかけているとか、なんか事業ないかとか。一度、電話で状況を聞いたときに、当てはまる事業があるかを考えて、ないと思ってそう対応したんですけど、実際に現場も見ずに状況を聞いて判断してしまったことがあって、市民の方からすれば、こういう状況で困っているというなかで寄り添えていなかったと思います。

荻野 それからは「ちょっと現場をみさせてください。」と言って、現場を見させてもらって、じっくり考えるようになった。

現場で話をさせてもらって、今のところ、使える事業はないこともあったりしますが、市民の方にも納得してもらえるようになったと思う。

4 仕事を通じて成長できたこと

山口 高校で入ったので、それまで年が離れているといったら小学校の6年の上級生くらい。それが入庁してみたら、職員も市民の方も大人ばかり。いろいろな意見をもって話をされたりするので、その対応を通じて高校生の頃の考え方よりも成長したと思う。目上の人と話す機会もなかったが、それができるようになった。

同級生は今、大学生なのですが、久しぶりに会うと、価値観が違ったりとかして、そういうところでも自分が成長したと思う。



鈴木 大学のときって遊んでますもんね、荻野さん。

荻野 そんなことないですよ（笑）

鈴木 それでも仕事を通じて、大学生のみんなよりも成長している部分もあると思います。

鈴木 私はもともと人見知りしないタイプ。窓口は好きなほうなんですけど、丁寧に話をするのって、知識も必要なんですが、言葉遣い、話す速度、声のトーンだったりとか、人によって話し方を変えないといけないところで、お客様対応能力が身についてきたかなというところと、戸籍の知識が身についてきたこと。戸籍の知識って他の部署に異動しても活かされることなので。

平原 窓口に出ることも多いのですが、いついつまでに県に提出しないといけないとか期限が決まっている業務も多い。その中でスケジュール管理とか時間配分の仕方が成長していると思います。期限が遅れると市民の方に支払うものが遅れたりして迷惑がかかってしまうので、スケジュール管理を大事にしたいと思います。

鈴木 何か気にかけていることはありますか？

平原 窓口だとイレギュラーなことも多いので、今日やろうと思っていたことができなかつたりするので、早めにスケジュールを組むことで期日までに対応できるようにしています。

荻野 僕は思ったことを考えることなくそのまま口にだしてしまう。市民の方からの問い合わせに即回答してしまうとどうなるというのが、入ったときはわからなかった。

仕事を通じて、どうなってしまうのかよく考えてから回答したり、相手がどう思うか考えてから回答するようになった。



5 この仕事が楽しい



荻野 仕事楽しい・・・やもんね（笑）

今年度から新しい取組みを始めようとしているんやけど、まったく前例がない。誰もがやったことがないことに取り組めるのが楽しい。後々、「俺がつくったんやで」と言えることが残せるのがうれしい。

鈴木 忙しい？

荻野 そうですね。ぼちぼちね（笑）

平原 市民課4年目、業務は1、2年で同じ業務をして、3年目の途中から少し変わって、今年から正式に担当業務が変わりました。福祉医療というものが、どうしても医療保険とか障害者手帳とかいろいろ関わってくることなので、担当業務だけでなく、他のことも質問されたりしますが、「分かりません」とならないように、自分の担当業務以外にも積極的にいろんな知識を身に付けていくことが、自分の成長につながるのを楽しんでできているかなと思います。

鈴木 私は、主な仕事が、住民票や印鑑登録、戸籍の届出審査。日々のなかでいちばん多い仕事なんですけど、戸籍の届出はけっこう時間がかかるんですね。

婚姻届だと去年の今頃なら1時間くらいかかっていました。今は45分くらい。1時間もかかるとお客様に負担をかけてしまいます。そこで効率よく届出を受けたり、順序良くミスなく進めていく方法を考えたりするのが楽しいです。





山口 僕は公共交通の部署に3年いて、今年度から総務課になって、今までと違う業務をして、その1つ1つを覚えるのが楽しい。・・・大きな声では言えないけど、難しいことも多くて楽しくなかったり（笑）

荻野 異動希望書かないと（笑）

鈴木 法律とか、総務課の人とかすごいなと思っている。財政とか総務とか中核的なイメージ。

山口 今後役に立つと思って頑張ってます。

6 学生の皆さんへのメッセージ

荻野 僕も入るとき不安だった。市役所ってどんな仕事って言われて答えにくい。部署によってやることが全然違うし。そんななかで実際入ってみればやっていけると思うので、心配なく、入ってからしっかり取り組んでいけば長く、仕事も楽しく続けられると思う。一生懸命取り組めば必ず自分を成長できる職場だと伝えさせていただきます！

鈴木 仕事したことがない人はやっぱり不安に思っていますよね。

公務員でどんな仕事と言われるといろいろじゃないですか。いろんな能力が必要で、いろんな分野の仕事があつて。

市民の方からすれば市役所はなんとかしてくれるやろ、と求められることもあつて。大変だけど、その分、やりがいもあつて、担当する業務もあるんだけど、自分の特技は必ず活かせるところがあると思うので、そういうのをどこの担当になつても、どう特技を活かしていったらいいかなというのを見つけるのも、楽しいかなと思うので。伝えさせていただきます。



鈴木 山口さんは？

荻野 同級生やで。来年入ってくるの。



山口 高卒で入って、それまでは賢い人になる仕事だと思っていたけど、高卒の僕でもなんとか仕事はやっていけているので、気負わず、楽しくできる仕事だと思っています。

入って一緒に働きたいですよ。人事異動もあり、多くの人に関われる仕事なので、魅力的な職場です。ぜひ入ってきてほしいです！

平原 わたしも高卒で入って、不安しかなかったんですけど、上司、先輩がやさしく教えてくださいましたので、不安に思うことはないと思います。

職場内だけでないつながりもあって、バレーとか野球のグループとか。相談しやすい人も見つけやすいんじゃないかと思うので。

人事異動も転職するかのようと言われるのを聞いたことがあるんですけど、何年かに1度、新しいことを始められるのは不安もあると思うんですけど、楽しくできると思います。

